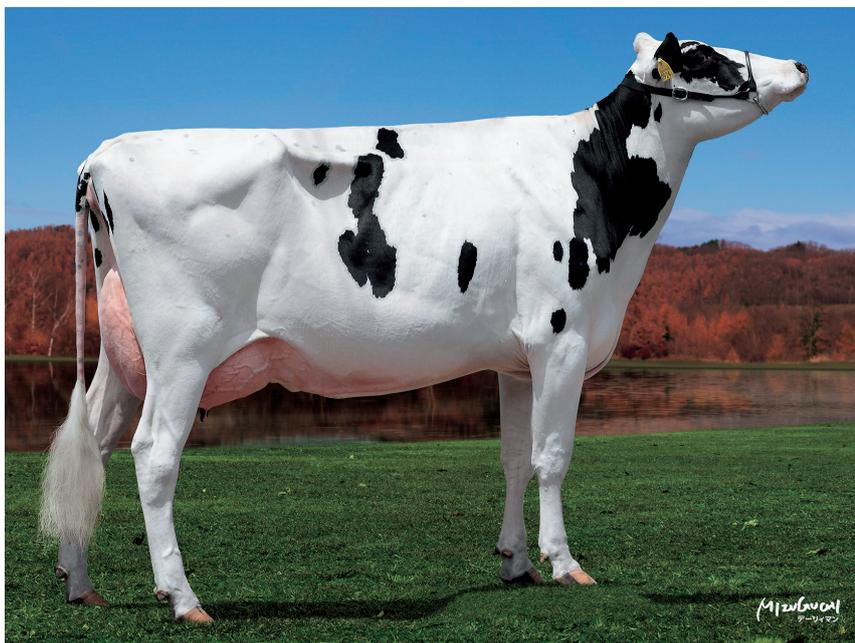


## ハツコー ミッドランド キング ロイヤル ラプソディー

北海道札幌市 学校法人八紘学園北海道農業専門学校



ハツコー ミッドランド キング ロイヤル ラプソディー(GP-83)

No.1578209246 2018年12月1日生

1.11歳 305日 M11,287kg F438kg 3.88%

父: プレインノール キング ロイヤル ET

母: ハツコー ミッドランド ジレスピー キャンディー(父: ジレスピー)

→母: ハツコー ミッドランド ジェイズ リンジー(父: ジェイズ)

→母: ハツコー ミッドランド バクスター アンジー(父: バクスター)

→母: ハツコー ミッドランド ルディー アンバー(父: ルディー)

→母: ハツコー ミッドランド シルキー ブエナ(父: クスター)

「母系をよく観察した上で、ブルブックの体型形質データと照らし合わせながら種雄牛を選んで改良を進めている。改良は小さなことの積み重ね。慎重に実績のある種を選定したい」と八紘学園職員の福井允二さん(28)は言う。

同校では体型に加え、能力も重視

しており、種雄牛選定に当たっては、従来の血統情報などに加え、未経産牛のゲノミック評価値も活用。より信頼度の高い健康、長命性、疾病、繁殖関連の重要な数値を基に改良のスピードを上げつつ、本来、力強い骨格を持つ八紘学園の牛群の特質を保ちながら「乳用性(泌乳能力)と鋭角性」を高めることを追求している。

本牛のファミリーについてはキングロイヤル×ジ

レスピー×ジェイズ×バクスターと能力の高い種雄牛を選定し改良を進めてきた。母・キャンディーからゲノミック評価値を用いた改良を始め、初産からヘツドライナー、キングロイヤル、キングドック、チーフを選定。5産のうち4産でホルスタイン種の雌を残す。

3産目の娘・ハツコー ミッドランド キングドック キヤサリンはLPI(カナダの総合指数)が+2,900と牛群で最も高く、遺伝的改良が早く進んだと判断できた。

2産目に当たる本牛は母牛と違いスタイリッシュな体型が特徴。前乳房の移行がスムーズで、肢が長く鋭角的で力強い。体型重視でデンバーを選定し2月に分娩予定だ。次は能力重視の種雄牛を選ぶ予定で、今後も方向性を探りながら改良を進めていく。

福井さんは「ゲノム情報が普及し、デルタ・ラムダやキングドックなど能力と体型形質を兼ね備えた種雄牛が評価されるようになり市場に出てきている。これからもショー偏重でなく、能力の改良もしっかり進めハイブリッドな牛群を目指したい」と今後を見据える。

### 【審査員コメント】

雌牛らしい資質に富んでおり輪郭が鮮明だ。全体的な牛体の長さ、特に後軀(く)の腰角から座骨までの長さがあり素晴らしい。

乳房については、後乳房の付着の高さが理想的だ。飛節の鮮明さ、肋の開張を改良すれば、より良いコンディションになり、体全体のバランスも改善されると思う。

### 【牧場概要】

飼養頭数: 60頭(うち経産牛40)

飼養形態: つなぎ飼い

飼料畑面積: 札幌農場28.2ha(オーチャードグラス、チモシー)、日高農場71ha(チモシー)

出荷乳量: 392 t/年



本牛の母牛の姉妹に当たるハツコー ミッドランド モントレー ベンジー。2019年道央酪農祭で1等賞1席を獲得